



花巣蜂

は ち す は な

令和6年6月27日 第3号
新潟市立赤塚中学校
 全校生徒147名 男子78名 女子69名
 TEL 025-239-2029 FAX 025-239-3313
 E-mail j703akatsuka@city-niigata.ed.jp

この敗戦があったからこそ強くなれる

フランス・パリで7月26日から開催されるオリンピックに引き続き、8月28日からはパラリンピックが開催されます。今大会では22の競技が実施され、車いすテニスシングルスに出場が内定している18歳の小田凱人（おだ とくと）選手に注目しています。

小田選手は、去年、史上最年少となる17歳1か月で四大大会の全仏オープン、ウィンブルドン選手権を相次いで制し、史上最年少でシニア世界ランキング1位の座をつかみました。その後も、全豪オープン、全仏オープン連覇とグランドスラム4連勝中です。

小田選手は小学生の低学年までサッカー少年で、将来の夢はプロのサッカー選手でした。しかし、9歳の時、左足に骨肉腫（骨のがん）を発症します。12時間にもおよぶ手術とその後の17回にも及ぶ抗がん剤治療により一命は取り留めたものの、股関節に人工関節を埋め込み左足には後遺症が残りました。当然サッカーは諦めざるを得ませんでした。

そんな小田選手は、病室でロンドン・パラリンピックの車いすテニスシングルス決勝で戦う国枝慎吾選手の映像を見ました。感情をあらわにしてプレーする国枝選手をカッコ良いと思った小田選手は、お年玉でテニスラケットを購入しベッドで素振りを始めます。抗がん剤治療は大人でも音を上げることが多い中、ベッドの上で毎日トレーニングをする小田選手に担当のお医者さんは驚いたそうです。

小田選手は、退院した後、すぐに車いすテニスにのめりこみます。車いすテニスをすることは、小田選手にとって生きることそのものだったそうです。しかし、11歳の時にがんが肺に転移し、再び抗がん剤治療を受けることとなります。小田選手は、「きっとこの試練は乗り越えられる」と、闘病生活を送ったそうです。

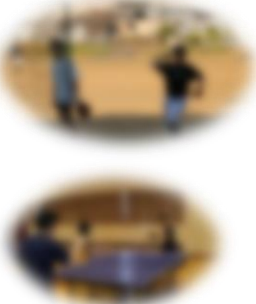

その後、史上最年少14歳11か月でジュニア世界ランキング1位、翌年15歳でプロ選手、16歳でグランドスラムという世界最高峰のトーナメントに出場し、世界ツアー最終戦で優勝と輝かしい成績を修めます。小田選手は、「史上最年少でシニア世界ランキング1位」になることを「目標」としていました。そして、史上最年少の17歳で見事に達成することができました。その原動力となったのは、「病氣と闘っている子どもたちのヒーロー的な存在になる」という「目的」があったことだそうです。

小田選手は、「史上最年少でシニア世界ランキング1位」の目標を達成する前年、16歳の時にあこがれの存在であった国枝選手と有明コロシアムで初めて対戦します。その戦いは2時間27分にも及ぶ激闘となりました。小田選手は絶対王者といえる国枝選手に第1セットを落としますが、強気のテニスで第2セットを取り返します。そして迎えたファイナルセット、1対5でマッチポイントを握られます。それから驚異の追い上げを見せ、6対5と逆転します。しかし、タイブレークの末、6対7で敗戦してしまいました。その対戦の後、小田選手は悔しさをにじませながらも晴れやかな表情を見せていました。きっと、この敗戦があったからこそ、その後の小田選手は強くなれたのだと思います。



新潟市中学校体育大会の結果

6月10日から22日にかけて新潟市中学校体育大会が開催されました。3年生の多くの生徒にとっては最後の中体連主催の大会となり、各部活動とも熱戦が繰り広げられました。

	ソフトテニス	個人戦	トーナメント1回戦	小川・保科	4-0	松浜	【勝利】
				水野・涌井	4-3	石山	【勝利】
				原田・廣木	4-1	小須戸	【勝利】
				岩木・齋藤	2-4	葛塚	【惜敗】
				高橋・本間	1-4	小須戸	【惜敗】
				朝妻・高野	4-0	巻西	【勝利】
			同2回戦	小川・保科	0-4	巻東	【惜敗】
				水野・涌井	3-4	葛塚	【惜敗】
				原田・廣木	4-0	白南	【勝利】
				朝妻・高野	4-1	葛塚	【勝利】
			同3回戦	朝妻・高野	1-4	白根北	【惜敗】
				原田・廣木	4-1	黒埼	【勝利】
	同4回戦	原田・廣木	0-4	新潟UCHINO	【惜敗】		
	卓球	団体戦	トーナメント1回戦	赤塚	2-1	濁川	【勝利】
			同2回戦	赤塚	2-1	横越	【勝利】
			同3回戦	赤塚	0-2	新津一	【惜敗】
							ベスト32

軟式野球 1回戦 赤塚・黒埼 11-0 味方・月潟 【勝利】 (5回コールド)
 2回戦 赤塚・黒埼 5-4 Growth baseball base 【勝利】
 ブロック決勝 赤塚・黒埼 3-5 NBC 新潟ベースボールコネクション 【惜敗】 ブロック2位

卓球 団体戦 予選リーグ 1回戦 赤塚 2-3 小針 【惜敗】
 同2回戦 赤塚 1-3 亀田 【惜敗】 予選リーグ3位
 個人戦 トーナメント1回戦敗退 齋田・渡邊・中原・高橋・中野
 同2回戦敗退 美内・本間
 同3回戦敗退 玉木

男子バスケットボール 1回戦 赤塚 59 - 44 岩室 【勝利】
 2回戦 赤塚 38 - 75 亀田西 【惜敗】

女子バスケットボール 1回戦 赤塚 47 - 33 五十嵐 【勝利】
 2回戦 赤塚 43 - 35 西川 【勝利】
 3回戦 赤塚 44 - 48 鳥屋野 【惜敗】
 県大会出場決定戦 1 赤塚 41 - 43 上山 【惜敗】 ベスト8

体操競技 山川 翔劉 床1位 跳馬2位 鉄棒1位 鞍馬1位
 個人総合2位 県大会出場

7月の予定

7月 1日(月)	短縮時程	職員会議	あいさつ運動	~4日(木) ※小中連携事業
2日(火)		フッ素洗口		
4日(木)		スクールカウンセラー来校		
5日(金)	短縮時程	歯肉炎予防教室(5限)	県大会激励会	
8日(月)	短縮時程	昼休後清掃	保護者懇談会	~12日(金)
9日(火)		生徒朝会		
11日(木)		ALT来校日		
13日(土)		県大会(~15日)		
16日(火)		フッ素洗口	専門委員会	
18日(木)	短縮時程	球技大会(午後)	部活なし	
19日(金)	特別時程	授業終了日	全校集会	22日(月)~夏季休業開始

